

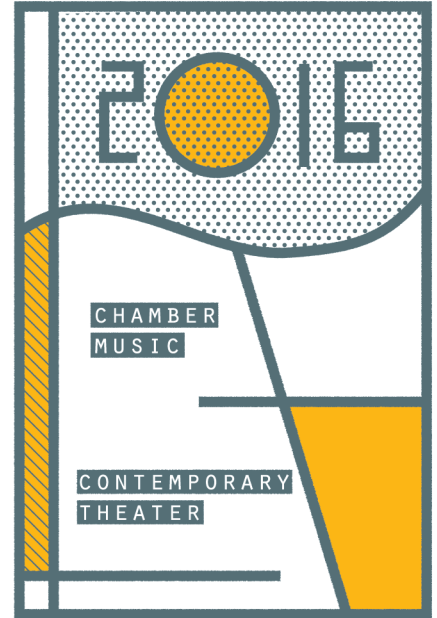
CONTEMPORARY
DANCE

2016 都民芸術フェスティバル 参加公演



ORCHESTRA

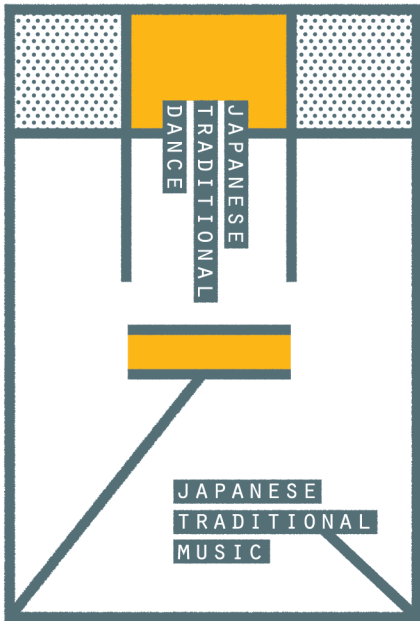
2016
都民芸術
フェスティバル



NOH

ARTS

<http://tomin-fes.com/>



OPERA

PERFORMING

1.8 - 3.23

観に行こう、
東京の舞台芸術

BALLET

FOLKLORIC
PERFORMING
ARTS



FESTIVAL

フェスティバル

主催：東京都 公益財団法人東京都歴史文化財団

お問い合わせ：東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団) Tel.03-5391-2116





● CONTENTS			頁
01	オーケストラ ORCHESTRA	オーケストラ・シリーズ No.47	
	●日本フィルハーモニー交響楽団	1月26日(火)	4
	●新日本フィルハーモニー交響楽団	2月2日(火)	
	●東京フィルハーモニー交響楽団	2月7日(日)	5
	●東京交響楽団	2月16日(火)	
	●NHK交響楽団	2月26日(金)	
	●東京都交響楽団	3月13日(日)	
	●読売日本交響楽団	3月20日(日)	
●東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団	3月23日(水)		
02	室内楽 CHAMBER MUSIC	室内楽・シリーズ No.15 日本の歌・シリーズ No.2	
	●『室内楽の夕べ』～バロック音楽の素敵な世界～	1月18日(月)	6
	●『ピアノ三重奏の夕べ』	2月10日(水)	
●『日本人の愛のかたち』	3月10日(木)		
03	オペラ OPERA		
	●藤原歌劇団公演 オペラ『トスカ』	1月30日(土)～31日(日)	7
	●東京二期会オペラ劇場『イル・トロヴァトーレ』	2月17日(水)～21日(日)	8
	●日本オペラ協会公演 オペラ『天守物語』	3月5日(土)～6日(日)	9
04	現代演劇 CONTEMPORARY THEATER		
	●トム・プロジェクトプロデュース『砦』	3月1日(火)～6日(日)	10
	●劇団銅鑼公演 No.48『池袋モンパルナス』	3月2日(水)～6日(日)	11
	●椿組 2016年春公演『三太おじさんの家』	3月11日(金)～15日(火)	12
	●江戸糸あやつり人形結城座 × ベトナム青年劇場 日越国際協働制作『野鴨中毒』	3月16日(水)～21日(月・祝)	13

観に行こう。東京の舞台芸術

都民芸術フェスティバルは、様々な分野の舞台芸術や芸能を都民をはじめ多くの方に身近に感じていただき、観客層の裾野の拡大を図っていくため、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が共同で実施している文化事業です。昭和43年度に始まり、毎年1月から3月にかけて開催され、今回で48回目を迎えます。本フェスティバルならではの豪華なラインナップを特徴とし、お求めやすい料金設定や公演をより楽しんでいただくための関連企画を設けるなど、日ごろ生の舞台に馴染みのない方にも親しんでいただける内容となっています。このフェスティバルを機会にぜひ、東京の舞台芸術の豊かさを体験してみませんか。

● CONTENTS			頁
05	バレエ BALLET		
	●スターダンサーズ・バレエ団 ピーター・ライト版『コッペリア』	1月8日(金)～9日(土)	14
	●東京シティ・バレエ団 ダブル・ビル 『L'Heure Bleue』『ベートーヴェン 交響曲第7番』	1月30日(土)～31日(日)	15
	●日本バレエ協会 コンスタンチン・セルゲイエフ版『眠れる森の美女』	3月19日(土)～20日(日)	16
06	現代舞踊 CONTEMPORARY DANCE		
	●現代舞踊公演 ・柳下規夫『冷たい満月 ニジンスキーの影に翔る』 ・山本 裕『The color of flowers』 ・能美健志『春の祭典』	3月17日(木)～18日(金)	17
07	邦楽 JAPANESE TRADITIONAL MUSIC		
●第46回 邦楽演奏会 一喜・怒・哀・楽	3月5日(土)	18	
08	日本舞踊 JAPANESE TRADITIONAL DANCE		
●第59回 日本舞踊協会公演	2月20日(土)～21日(日)	19	
09	能楽 NOH		
●第56回 式能	2月21日(日)	20	
10	民俗芸能 FOLKLORIC PERFORMING ARTS		
●第47回 東京都民俗芸能大会 一道の芸・街角の芸	3月19日(土)～20日(日)	21	
11	寄席芸能 VARIETY HALL ENTERTAINMENT		
	●第46回 都民寄席 〈浪曲の会〉2月7日(日)／〈町田公演〉2月12日(金)／〈国立公演〉2月17日(水) 〈羽村公演〉2月26日(金)／〈日野公演〉2月28日(日)／〈多摩公演〉3月10日(木)／〈瑞穂公演〉3月19日(土)		22 23



オーケストラ・シリーズNo.47

在京オーケストラの魅力とクラシック音楽の旬を紹介する人気シリーズ

47回目を迎える「オーケストラ・シリーズ」は、東京に所在するオーケストラ8楽団の演奏を、手頃な料金で楽しんでいただける、都民芸術フェスティバルの中でもとりわけ人気の高い公演です。今回も国内外で活躍するベテランや気鋭の若手を指揮者やソリストに招き、初心者からクラシックファンまで楽しんでいただける名曲を中心としたプログラムが組まれています。

日本フィルハーモニー交響楽団

{開催日} 1月26日(火) 19:00開演(18:00開場)

〈出演〉指揮/梅田俊明 チェロ/宮田大
〈曲目〉ドヴォルザーク/チェロ協奏曲 口短調 作品104
チャイコフスキー/交響曲第6番 口短調 作品74「悲愴」



梅田俊明 ©三浦興一 宮田大

新日本フィルハーモニー交響楽団

{開催日} 2月2日(火) 19:00開演(18:00開場)

〈出演〉指揮/ジェイソン・ライ ヴァイオリン/大江馨
〈曲目〉メンデルスゾーン/序曲「フィンガルの洞窟」作品26
メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲 口短調 作品64
ベートーヴェン/交響曲第7番 長調 作品92

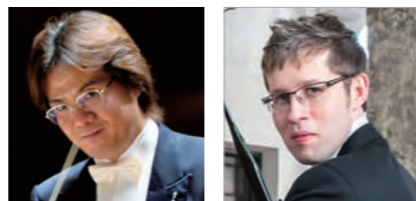


ジェイソン・ライ 大江馨 ©井村重人

東京フィルハーモニー交響楽団

{開催日} 2月7日(日) 14:00開演(13:00開場)

〈出演〉指揮/渡邊一正 ピアノ/イグナツ・リシェツキ
〈曲目〉ワーグナー/歌劇「タンホイザー」序曲
ショパン/ピアノ協奏曲第1番 口短調 作品11
マーラー/交響曲第5番 嬰ハ短調より「アダージェット」
チャイコフスキー/幻想序曲「ロメオとジュリエット」



渡邊一正 ©満田聡 イグナツ・リシェツキ

東京交響楽団

{開催日} 2月16日(火) 19:00開演(18:00開場)

〈出演〉指揮/沼尻竜典 ヴァイオリン/小林美樹
〈曲目〉ワーグナー/楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」前奏曲
ブラームス/ヴァイオリン協奏曲第1番 長調 作品26
ブラームス/交響曲第1番 長調 作品68

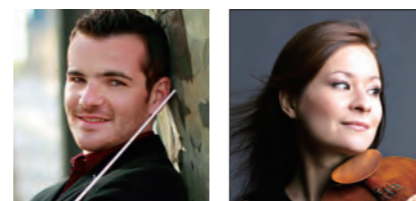


沼尻竜典 小林美樹 ©Shingo Azumaya

NHK交響楽団

{開催日} 2月26日(金) 19:00開演(18:00開場)

〈出演〉指揮/リオネル・ブランギエ ヴァイオリン/アラベラ・美歩・シュタインバッハー
〈曲目〉チャイコフスキー/ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35
ムソルグスキー(ラヴェル編)/組曲「展覧会の絵」



リオネル・ブランギエ ©Jonathan Grimbart-Barré アラベラ・美歩・シュタインバッハー ©Peter Rigaud

東京都交響楽団

{開催日} 3月13日(日) 14:00開演(13:00開場)

〈出演〉指揮/大友直人 ピアノ/ミロスラフ・クルティシエフ
〈曲目〉〜チャイコフスキー・プログラム〜
ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 作品23
交響曲第5番 小短調 作品64



大友直人 ©Rowland Kirishima ミロスラフ・クルティシエフ ©Jan Eytan

読売日本交響楽団

{開催日} 3月20日(日) 14:00開演(13:00開場)

〈出演〉指揮/下野竜也 ピアノ/小山実穂恵
〈曲目〉〜ベートーヴェン・プログラム〜
付随音楽「アテネの廃墟」作品113<序曲>
ピアノ協奏曲第4番 長調 作品58
交響曲第5番 長短調 作品67「運命」



下野竜也 ©Naoya Yamaguchi 小山実穂恵 ©ND CHOW

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

{開催日} 3月23日(水) 19:00開演(18:00開場)

〈出演〉指揮/高関健 ピアノ/山元香那子
〈曲目〉モーツァルト/ピアノ協奏曲第21番 長調 K.467
ブルックナー/交響曲第4番 変ホ長調「ロマンティック」



高関健 ©Masahide Sato 山元香那子

会場：東京芸術劇場 コンサートホール

料金(全席指定・税込)

A席3,800円 B席2,800円 C席1,800円 学生A席3,000円 学生B席2,200円 学生C席1,400円

【全8公演セット券】26,800円(日本演奏連盟事務局(WEB&電話)のみ取扱い/300席限定)

※学生は25歳まで(日本演奏連盟事務局(WEB&電話)のみ取扱い/当日要学生証提示)
※障害者割引があります。詳細は日本演奏連盟事務局へ。
※未就学児はご入場いただけません。
※曲目及び演奏者は一部変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

チケット取扱い

日本演奏連盟事務局 Tel.03-3539-5131(平日10:00~18:00)
日本演奏連盟WEB予約 <http://www.jfm.or.jp/>
東京芸術劇場ボックスオフィス Tel.0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00) <http://www.geigeki.jp/t/>
東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650(休館日を除く10:00~19:00) <http://www.t-bunka.jp/>
チケットぴあ Tel.0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>

ポイント	日本フィルハーモニー交響楽団	新日本フィルハーモニー交響楽団	東京フィルハーモニー交響楽団	東京交響楽団
	277-844	277-845	277-846	277-847
	NHK交響楽団	東京都交響楽団	読売日本交響楽団	東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団
	277-861	277-862	277-863	277-864

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>(パソコン&携帯)
ローソンチケット Tel.0570-000-407(オペレーター10:00~20:00) <http://l-tike.com/>

チケット発売中

主催・お問い合わせ:公益社団法人日本演奏連盟 Tel.03-3539-5131 <http://www.jfm.or.jp/>

託児サービスのご案内

「東京芸術劇場託児施設 だっこルーム」～東京芸術劇場での公演をご鑑賞の際、お子様をお預かりします～
【お預かり対象】生後3か月から小学校入学前のお子様(定員あり)
【お預かり時間】9:00~22:00(劇場休館日は除く)
【お申込み方法】お電話での事前予約(利用日の運営事務所1営業日前正午まで※)
※月曜日のお預かりは前週金曜日の正午まで、前週金曜日が祝日の場合は木曜日正午までとなります。
【料金】開演30分前から終演30分後まで ~1歳児:2,560円(税込) 2~6歳児(就学前):2,160円(税込)
【お申込み・お問合せ】小学館集英社プロダクションTel.03-3981-7003(平日10:00~17:00/土日祝休)



東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2111(代表)
◆JR山手線・埼京線・東武東上線・西武池袋線・東京メトロ有楽町線・丸の内線・副都心線「池袋駅」西口から徒歩2分
※池袋駅地下2b出口と直結



10年ぶりに生まれ変わる藤原歌劇団の『トスカ』

プッチーニのオペラ「トスカ」は藤原歌劇団でもたびたび上演されているドラマティックな作品ですが、愛と欲望が行き交う緊迫したドラマと甘美なメロディーや、劇的なオーケストラなどオペラの魅力満載の傑作です。2006年以来10年ぶりの上演となる今回は、次代の日本オペラ界を担うであろうフレッシュなコンビを指揮と演出に迎えた新制作となります。

指揮の柴田真郁は2013年の『仮面舞踏会』でそのダイナミックな音楽性が高い評価を得ました。演出の馬場紀雄は長らく演出助手として経験を積み、満を持して本公演で演出デビューを果たします。実力派揃いのソリストと若いスタッフによる高水準の上演にご期待ください。

藤原歌劇団公演

オペラ『トスカ』全3幕 (字幕付イタリア語上演)

1800年のローマ。有名な歌手トスカの愛人であるカヴァラドッシは同士の脱獄囚アンジェロッチェを匿したが、ローマの警視總監スカルピアはかねてからトスカによこしまな思いを抱いており、脱獄囚の行く手を捕まえ、またトスカの嫉妬心を利用して彼女を自分のものにしようとする。カヴァラドッシは連行され拷問を受けるが、トスカも呼ばれ恋人の悲鳴な叫び声を聞き脱獄囚の行方をしゃべってしまう。なおスカルピアはトスカにカヴァラドッシの偽の処刑を匂わせ二人を逃がすと嘘をつくが、トスカは旅券を手にしてスカルピアを刺殺してしまう。トスカは偽の処刑のあと逃亡できると信じているが、カヴァラドッシは本当に処刑されてしまう。ついにトスカは聖アンジェロ城の露台から身を投げる。

{開催日} 1月30日 {土} — 31日 {日}

公演日	1/30(土)	31(日)	※開演は開演の60分前です。 ※各回13:15から客席にて作品解説を実施します。
開演	14:00		

〈作曲〉プッチーニ 〈公演監督〉折江忠道 〈指揮〉柴田真郁 〈演出〉馬場紀雄
〈出演〉
【トスカ】野田ヒロ子(1/30) 佐藤康子(1/31) 【カヴァラドッシ】村上敏明(1/30) 笛田博昭(1/31)
【スカルピア】折江忠道(1/30) 須藤慎吾(1/31) 【アンジェロッチェ】三浦克次(1/30) 久保田真澄(1/31)
【堂守】柴山昌宣(1/30) 安東玄人(1/31) 【スポレッタ】所谷直生(1/30) 澤崎一了(1/31)
【シャルローネ】党主税(1/30) 田中大揮(1/31) 【看守】坂本伸司(両日)
【牧童】時田早弥香(両日)

〈合唱〉藤原歌劇団合唱部 〈児童合唱〉多摩ファミリーシンガーズ 〈管弦楽〉東京フィルハーモニー交響楽団
〈合唱指揮〉安部克彦 〈美術〉土屋茂昭 〈衣裳〉小野寺佐恵 〈照明〉奥畑康夫 〈舞台監督〉村田健輔

会場：東京文化会館 大ホール

料金(全席指定・税込)

S席14,800円 A席12,800円 B席9,800円 C席6,800円
D席3,800円(残席僅少) E席3,000円(残席僅少)

【ヤング・フレッシュマンチケット】A~C席を各席半額でお求めいただけます。
(25歳以下/枚数限定/日本オペラ振興会チケットセンター電話予約のみ取扱い)
※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

日本オペラ振興会チケットセンター Tel.044-959-5067(平日10:00~18:00)
https://www.jof.or.jp/
東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650 http://www.t-bunka.jp/
チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード274-191) http://t.pia.jp/
e+(イープラス) http://eplus.jp/(パソコン&携帯)
ローソンチケット Tel.0570-000-407(オペレーター10:00~20:00)
Tel.0570-084-003(自動音声24時間/Lコード38422)
http://l-tike.com/
CNプレイガイド Tel.0570-08-9990(CNI-10631)
http://www.cnplayguide.com/co.jp/ticket/

チケット発売中

主催：公益財団法人日本オペラ振興会・公益社団法人日本演奏連盟
お問い合わせ：日本オペラ振興会チケットセンター Tel. 044-959-5067 https://www.jof.or.jp/



東京文化会館
〒110-8716 台東区上野公園5-45 Tel.03-3828-2111(代表)
◆JR山手線・京浜東北線・常磐線・成田線・高崎線・東北本線
「上野駅」公園口から徒歩1分
◆東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口から徒歩5分
◆京成線「京成上野駅」正面口



日本における西洋音楽の 受容と昇華を体感する3公演

古楽の第一人者・有田正広を迎えての室内楽、ベテラン演奏家3人によるピアノ三重奏、待望の日本歌曲プログラム第2弾、西洋音楽の豊かさを多方面から味わえるラインナップです。

室内楽・シリーズNo.15

『室内楽の夕べ』～バロック音楽の素敵な世界～

{開催日} 1月18日 {月} 19:00 開演(18:30 開場)

〈出演〉フルート/有田正広 ヴァイオリン/桐山建志
チェロ/山本 徹 チェンバロ/曾根麻矢子
〈曲目〉テレマン/四重奏曲(1730)よりソナタ第2番ト短調
J.S.バッハ/通奏低音ソナタ ホ短調 BWV1023
ラモー/クラヴサン・コンセル第5番
テレマン/チェロ・ソナタト長調
ブラヴェ/ソナタ第2番 作品2-2 二短調「ラ・ヴィヴレ」
テレマン/バリ四重奏曲第2番 イ短調



室内楽・シリーズNo.15

『ピアノ三重奏の夕べ』

{開催日} 2月10日 {水} 19:00 開演(18:30 開場)

〈出演〉ピアノ/菊池洋子 ヴァイオリン/徳永二男 チェロ/毛利伯郎
〈曲目〉ハイドン/ピアノ三重奏曲 ハ長調 Hob.XV-27
ラヴェル/ピアノ三重奏曲 イ短調
ブラームス/ピアノ三重奏曲第1番 口長調 作品8



日本の歌・シリーズNo.2

『日本人の愛のかたち』

{開催日} 3月10日 {木} 19:00 開演(18:30 開場)

〈出演〉ソプラノ/佐藤美枝子 テノール/大槻孝志
バリトン/坂下忠弘 ピアノ/河原忠之
〈曲目〉團伊玖磨/歌劇「夕鶴」より「与ひょう、あたしの大事な与ひょう」
山田耕柝/「からたちの花、この道、城ヶ島の雨、六騎、連作歌曲「雨情民謡集」
中田喜直/「ねむの花、ゆく春、夕方のおかあさん」 ほか



会場：東京文化会館 小ホール

料金(全席指定・税込)

3,000円
※障害者割引があります。詳細は日本演奏連盟事務局へ。
※未就学児はご入場いただけません。
※曲目及び演奏者は一部変更になる場合もありますので、予めご了承ください。

チケット取扱い

日本演奏連盟事務局 Tel.03-3539-5131(平日10:00~18:00)
日本演奏連盟WEB予約 http://www.jfm.or.jp/
東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650(休館日を除く10:00~19:00)
http://www.t-bunka.jp/
チケットぴあ Tel.0570-02-9999 http://t.pia.jp/

ポイント	『室内楽の夕べ』	『ピアノ三重奏の夕べ』	『日本人の愛のかたち』
	277-865	277-866	277-867

e+(イープラス) http://eplus.jp/(パソコン&携帯)
ローソンチケット Tel.0570-000-407(オペレーター10:00~20:00) http://l-tike.com/

チケット発売中

主催・お問い合わせ：公益社団法人日本演奏連盟 Tel.03-3539-5131 http://www.jfm.or.jp/



東京文化会館
〒110-8716 台東区上野公園5-45 Tel.03-3828-2111(代表)
◆JR山手線・京浜東北線・常磐線・成田線・高崎線・東北本線
「上野駅」公園口から徒歩1分
◆東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口から徒歩5分
◆京成線「京成上野駅」正面口





イタリア・オペラの豪華絢爛な舞台を 最高峰の指揮者と歌手を迎えて贈る

ヴェルディ中期の傑作『イル・トロヴァトーレ』。流麗な旋律と声の饗宴に彩られた、まさにイタリア・オペラの王道とも言える作品です。高い技量が要求されるキャストの一人として、今回は欧州の歌劇場で活躍するテノールのエクトール・サンドバルを招聘。東京二期会の歌手陣、そしてアンドレア・パッティストーニ率いる東京都交響楽団との真剣勝負をお楽しみください。また、パルマ王立歌劇場およびヴェネツィア・フェニーチェ劇場と提携による本場イタリアの色彩の美しさが際立つ舞台も、オペラ初心者からファンまでご満足いただけることでしょう。

東京二期会オペラ劇場

《パルマ王立歌劇場とヴェネツィア・フェニーチェ劇場との提携公演》

『イル・トロヴァトーレ』全4部

(字幕付イタリア語上演)

あらすじ

15世紀アラゴン(スペイン)。かつてルーナ伯爵には弟がいたが、ジプシー女の呪いのせいで病弱であるとされ、女は火刑に処された。だが、同時に弟も行方がわからなくなってしまった。吟遊詩人(トロヴァトーレ)で騎士のマンリーコと宮廷女官レオノーラは相思相愛の仲であるが、ルーナ伯爵も彼女に横恋慕している。マンリーコの母アズチーナは、処刑されたジプシー女の娘。母を殺された恨みからルーナの弟をさらい、火刑の火に投げ入れようとしたが、誤って自分の子を投げ入れてしまった。ルーナに母アズチーナを捕えられたマンリーコは伯爵の居城に攻め込むも逆に捕えられる。レオノーラは伯爵に自分と引換えにマンリーコを救うことを提案、伯爵はそれを受け入れ釈放命令を出す。しかし、すでに服毒していたレオノーラは絶命。裏切られた伯爵はマンリーコの処刑命令を下す。マンリーコの処刑後、アズチーナは、伯爵にマンリーコこそが彼の実弟であると呼ぶ。



©Michele Crossera



アンドレア・パッティストーニ ©Roberto Masotti
ロレンツォ・マリアーニ
並河寿美
石原妙子
エクトール・サンドバル
小原啓楼
上江隼人
成田博之

{開催日} 2月17日 {水} — 21日 {日}

公演日	2/17(水)	18(木)	19(金)	20(土)	21(日)
開演			休演日		
14:00					
18:30					

※開場は開演の60分前です。
※上演予定時間3時間(休憩1回含む)

〈原作〉アントニオ・ガルシア・グティエレス『エル・トロバドール(吟遊詩人)』
〈台本〉サルヴァトーレ・カンマラーノ、レオネ・エマヌエーレ・バルダーレ(補佐)
〈作曲〉ジュゼッペ・ヴェルディ 〈指揮〉アンドレア・パッティストーニ 〈演出〉ロレンツォ・マリアーニ
〈出演〉【マンリーコ】エクトール・サンドバル(2/17・20) 小原啓楼(2/18・21) 【レオノーラ】並河寿美(2/17・20) 石原妙子(2/18・21)
【ルーナ伯爵】上江隼人(2/17・20) 成田博之(2/18・21) 【アズチーナ】清水華澄(2/17・20) 中島郁子(2/18・21)
【フェルランド】伊藤 純(2/17・20) 清水那由太(2/18・21) 【イネス】富岡明子(2/17・20) 杉友恵子(2/18・21)
【ルイス】今尾 滋(2/17・20) 大野光彦(2/18・21) 【老ジプシー】三戸大久(2/17・20) 杉浦隆大(2/18・21)
【使者】吉田 連(2/17・20) 前川健生(2/18・21)
〈合唱〉二期会合唱団 〈管弦楽〉東京都交響楽団
〈美術〉ウィリアム・オルランディ 〈照明〉クリスチャン・ピノー 〈演出補〉エリザベッタ・マリーニ
〈合唱指揮〉佐藤 宏 〈音楽アドバイザー〉田口興輔 〈舞台監督〉佐藤紀紀 〈公演監督〉直野 資

会 場：東京文化会館 大ホール

料 金(全席指定・税込)

S席13,500円 A席12,500円 B席10,000円 C席8,000円 E席2,000円

学生席2,000円 (二期会チケットセンターで電話のみの取扱い)

※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

チケットスペース Tel.03-3234-9999
二期会チケットセンター Tel.03-3796-1831
(平日10:00~18:00/土曜10:00~15:00)
http://www.nikikai.net/ticket/index.html/

e+(イープラス) http://eplus.jp/(パソコン&携帯)
チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード273-130)http://t.pia.jp/
ローソンチケット Tel.0570-000-407(オペレーター10:00~20:00)
Tel.0570-084-003(自動音声24時間/Lコード37928)
http://l-tike.com/
東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650 http://www.t-bunka.jp/

チケット発売中

主催：公益財団法人東京二期会・公益社団法人日本演奏連盟
お問い合わせ：二期会チケットセンター Tel.03-3796-1831 http://www.nikikai.net/



東京文化会館
〒110-8716 台東区上野公園5-45 Tel.03-3828-2111(代表)
◆JR山手線・京浜東北線・常磐線・成田線・高崎線・東北本線
「上野駅」公園口から徒歩1分
◆東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口から徒歩5分
◆京成線「京成上野駅」正面口



時代とともに更新しつづける 日本オペラの代表的作品

泉鏡花原作、水野修孝作曲のオペラ『天守物語』は、日本オペラの秀作として上演を重ねてきたレパートリー作品です。日本オペラ協会ではこれまで早川昌二、栗山昌良、岩田達宗ら演出によるプロダクションで上演を重ねてきましたが、今回は一昨年の『春琴抄』での卓越した舞台形象が高く評価された荒井間佐登の新演出により、このオペラの魅力を新たに発掘します。また今回は主役に角野圭奈子、佐藤路子、迎肇聡ら新進を抜擢。中鉢聡、沢崎恵美、泉良平、豊島雄一ら日本オペラに定評ある実力派歌手陣との共演も楽しみです。

日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズNo.76

オペラ『天守物語』全2幕

播州姫路白鷺城の天守五重に、100年このかた人が足を踏み入れることを許さぬ世界がある。そこには金色の眼を持つ木彫りの獅子頭と、その精を受けて生きる魔性のものたちが棲みついていた。そのひとり、天守夫人富姫のもとを、猪苗代亀の城の城主の生首を手土産に亀姫が訪れる。気を良くした富姫は、姫路城主武田播磨守の大切な鷹を取り上げて亀姫に与える。そのため鷹匠の図書之助は天守の五重を見届けるよう命ぜられる。図書之助の美しさのとりこになった富姫ははじめ彼を引き止めるが、彼の迷いを見て諦め、宝蔵から盗み出した兜を与えて下界に帰す。しかし、この兜があだとなり追われる身となった図書之助は、再び天守へと逃げ込んでくるのだが……。

{開催日} 3月5日 {土} — 6日 {日}

公演日	3/5(土)	6(日)
開演		
14:00		

※開場は開演の60分前です。
※各回13:15から客席にて作品解説を実施します。
※上演予定時間約2時間(休憩1回含む)

〈原作〉泉 鏡花 〈作曲〉水野修孝 〈台本〉金窪周作
〈総監督〉大賀 寛 〈指揮〉山下一史 〈演出〉荒井間佐登

〈出演〉【富姫】角野圭奈子(3/5) 佐藤路子(3/6) 【図書之助】中鉢聡(3/5) 迎肇聡(3/6)
【亀姫】沢崎恵美(3/5) 伊藤 晴(3/6) 【朱の盤坊】泉良平(3/5) 豊島雄一(3/6)
【舌長姥】きのしたひろこ(3/5) 二渡加津子(3/6) 【薄】上田由紀子(両日)
【桃六】大賀 寛(3/5) 中村 靖(3/6) ほか

〈合唱〉日本オペラ協会合唱団 〈児童合唱〉多摩ファミリーシンガーズ 〈管弦楽〉フィルハーモニア東京

〈美術〉池田ともゆき 〈衣裳〉桜井久美 〈照明〉岡田勇輔 〈振付〉飛鳥左近
〈舞台監督〉八木清市 〈合唱指揮〉須藤桂司

会 場：新国立劇場 中劇場

料 金(全席指定・税込)

S席10,000円 A席9,000円 B席8,000円 C席5,000円 D席3,000円

【ヤング・フレッシュマンチケット】A~C席を各席半額でお求めいただけます。

(25歳以下/枚数限定/日本オペラ振興会チケットセンター電話予約のみ取扱い)

※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

日本オペラ振興会チケットセンター Tel.044-959-5067(平日10:00~18:00)
https://www.jof.or.jp/
東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650 http://www.t-bunka.jp/
チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード275-804)http://t.pia.jp/
e+(イープラス) http://eplus.jp/(パソコン&携帯)
新国立劇場ボックスオフィス(窓口のみ)

チケット発売中

主催：公益財団法人日本オペラ振興会・公益社団法人日本演奏連盟
お問い合わせ：日本オペラ振興会チケットセンター Tel.044-959-5067 https://www.jof.or.jp/



山下一史 荒井間佐登
角野圭奈子 佐藤路子
中鉢聡 迎肇聡
沢崎恵美 伊藤晴

OPERA

OPERA



激動の昭和史に秘められた、ある夫婦の姿

小説家・松下竜一による著作『砦に拠る』(1977年初版発行)は、村の自然と共存する人々を守るためダム建設反対を掲げ、時の権力を相手に戦い続けた男とその妻の半生を追ったノンフィクションです。今回、松下と同じ九州出身の劇作家・演出家、東憲司がこの作品に描かれた実在の人物をモチーフに新たな夫婦の物語を創作します。

東日本大震災から5年が経とうとしている今、遅々として進まぬ復興や人間関係の希薄化が取り沙汰される中、市民運動の原点と呼ばれる史実を通して描かれる、互いを支え合う夫婦や人々の姿は、現代社会に一石を投じるものとなるでしょう。

トム・プロジェクト プロデュース

『砦』

「日本は戦争に負けた、それを思えばこれくらいの犠牲がなんです」……ダム建設予定地の住民に投げ掛けた職員言葉に一人の男が立ち上がった。犠牲となるのは戸数21戸の小さな集落。男はダム建設予定地に砦を立て、アヒルや牛も反対闘争に参加させた。機動隊に糞尿を撒き散らし、果ては水中乱闘事件までに発展してゆく。闘い続けた男と、それを見守る女。故郷を愛した夫婦の物語!

{開催日} 3月1日 {火} - 6日 {日}

公演日	3/1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	6(日)
開演	14:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00

※開場は開演の30分前です。

〈原作〉松下竜一『砦に拠る』

〈作・演出〉東憲司

〈出演〉村井國夫(キューブ)、藤田弓子(エム・ケイ・ツー)、カゴシマジロー、浅井伸治、滝沢花野



〈舞台美術デザイン〉中川香純 〈照明プラン〉宮野和夫 〈音響プラン〉半田 充(MMS)

〈衣裳プラン〉樋口 藍 〈演出助手〉鈴木めぐみ 〈舞台監督〉松本仁志

〈プロデューサー〉岡田 潔 〈企画制作〉トム・プロジェクト

会場：東京芸術劇場 シアターウエスト

料金(全席指定・税込)

前売4,500円 当日5,000円

シニア(60歳以上)4,000円(トム・プロジェクトのみ取扱い/当日要証明書提示)

U-25(25歳以下)2,500円(トム・プロジェクトのみ取扱い/当日要証明書提示)

※シニア、U-25は前売当日とも同料金となります。
※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

トム・プロジェクト Tel.03-5371-1153 <http://www.tomproject.com/>

チケットぴあ Tel.0570-02-9999(PCODE448-053) <http://t.pia.jp/>

ローソンチケット Tel.0570-000-407(オペレーター10:00~20:00)

Tel.0570-084-003(自動音声24時間/Lコード39816)

<http://t-tike.com/>

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>(パソコン&携帯)

東京芸術劇場ボックスオフィス Tel.0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00)

<http://www.geigeki.jp/t/>

チケット発売日 2015年12月11日(金)

主催・お問い合わせ:トム・プロジェクト株式会社 Tel.03-5371-1153 <http://www.tomproject.com/>

託児サービスのご案内

「東京芸術劇場託児施設 だっこルーム」～東京芸術劇場での公演をご鑑賞の際、お子様をお預かりします～

【お預かり対象】生後3ヵ月から小学校入学前のお子様(定員あり)

【お預かり時間】9:00~22:00(劇場休館日は除く)

【お申込み方法】お電話での事前予約(利用日の運営事務所1営業日前正午まで※)

※月曜日のお預かりは前週金曜日の正午まで、前週金曜日が祝日の場合は木曜日正午までとなります。

【料金】開演30分前から終演30分後まで ~1歳児:2,560円(税込) 2~6歳児(就学前):2,160円(税込)

【お申込み・お問合せ】小倉館集英社プロダクションTel.03-3981-7003(平日10:00~17:00/土日祝休)



東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2111(代表)
◆JR山手線・埼京線、東武東上線、西武池袋線、東京メトロ有楽町線・丸の内線・副都心線「池袋駅」西口から徒歩2分
※池袋駅地下2b出口と直結

戦時下、自らの芸術を求め続けた若き画家たちの群像劇

昭和初期から第二次世界大戦終戦頃まで、東京・池袋周辺には若く貧しい芸術家たちが集まり、その界隈は“池袋モンパルナス”と呼ばれた。このアトリエ村を舞台に、戦争という時代に翻弄された若き求道の芸術家たちの生き様を描く。1997年初演、1999年池袋演劇祭大賞に輝いた劇団銅鑼の名作を、脚本を改訂し新演出で上演します。日々莫大な情報にともすれば流されてしまう現代日本において、この作品を通し、あらためて「個人と社会」「個人と群れ」の関係、そして真の意味での「個の確立」について考える機会を持っていただければ幸いです。

劇団銅鑼公演No.48『池袋モンパルナス』

昭和初期、若き画家・巖光は太平洋画会研究所で油絵の研鑽を積んでいた。仲間たちには後に大成する洋画家たち、井上長三郎、鶴岡政男、寺田政明などがいた。彼らは“池袋モンパルナス”と呼ばれた界隈に移り住み、貧乏ながらも芸術論を戦わせエネルギーに生きていた。そして巖光は運命の人・キエと出会う。やがて戦時色が強くなる中で、彼らが求める“シュルレアリスム”に対する弾圧が強まっていく。

{開催日} 3月2日 {水} - 6日 {日}

公演日	3/2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	6(日)
開演	14:00	19:00	19:00	19:00	19:00

※開場は開演の30分前です。
※3月3日(木)14:00開演の最終演後「作家とお茶会」開催。(要実費/劇団へ要予約)
◎初日割引:2日(水)19:00 Friday Night割引4日(金)19:00

〈原作〉宇佐美承著『池袋モンパルナス』(集英社文庫刊より)

〈作〉小関直人 〈演出〉野崎美子

〈出演〉佐藤文雄、横手寿男、館野元彦、三田直門、鶴岡秀一、野内真之、亀岡幸大、池上礼朗、木下昌孝、真原孝幸、山形敏之、川邊史也、竹内奈緒子、土井真波、向 暁子、高原瑞季

〈美術〉佐藤朋有子 〈照明〉鷲崎淳一郎 〈音響〉中嶋直勝 〈音楽〉芳賀一之 〈衣裳〉広野洋子

〈振付〉柳下久美子 〈舞台監督〉稲葉対介 〈演出助手〉宮藤希希望 〈舞台監督助手〉村松真衣

〈パリアフリーサービス〉鯨 エマ 〈宣伝美術〉山口拓三(Garowa graphic) 〈制作〉田辺素子

会場：俳優座劇場

料金(全席指定・税込)

一般5,000円

初日割引(2日(水)19:00開演の回)3,500円

Friday Night割引(4日(金)19:00開演の回)3,500円

25歳以下2,500円(劇団銅鑼のみ取扱い/当日要証明書提示)

※未就学児はご入場いただけません。
※障害者は付添1名様まで無料となります。(劇団銅鑼へ要申込)

チケット取扱い

劇団銅鑼 Tel.03-3937-1101(平日10:00~18:00)

info@gekidandora.com <http://www.gekidandora.com>

チケットぴあ Tel.0570-02-9999(PCODE446-721) <http://t.pia.jp/>

【パリアフリーサービス】

聴覚障害者向字幕(タブレット・予定)サービス 2日(水)19:00・3日(木)14:00&19:00・4日(金)14:00

(全ての公演にロビーでの手話通訳あり)

視覚障害者向音声ガイドサービス 4日(金)19:00・5日(土)14:00&19:00・6日(日)14:00

【美術館半券サービス】

公演時に板橋区立美術館、大川美術館、岩手県立美術館などの美術館入場券の半券を

お持ちいただいた方に公演パンフレットをプレゼント!

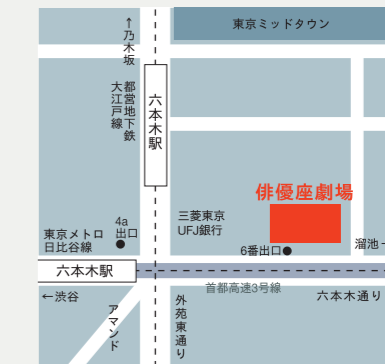
該当する美術館については劇団銅鑼HPをご覧ください。

チケット発売中

主催・お問い合わせ:有限会社劇団銅鑼 Tel.03-3937-1101 <http://www.gekidandora.com/>



1999年舞台より



俳優座劇場

〒106-0032 港区六本木4-9-2 Tel.03-3470-2880

◆都営大江戸線「六本木駅」6番出口すぐ

◆東京メトロ日比谷線「六本木駅」4a出口から徒歩1分

◆渋谷駅から都バスにて都01(新橋駅前) >

または渋谷88(新橋駅前) >「六本木駅前停留所」下車徒歩3分

※<都01折返(六本木ビルズ行)>は「六本木駅前」停留所には停まりません。





異なる世代と対峙する、 「昭和」を生きた劇団の新たな挑戦

1971年に「はみだし劇場」として旗揚げし、以来一貫して「土の舞台」「祭りとしての演劇」にこだわり続け、毎夏の新宿・花園神社での野外劇を続けて30年目になる劇団・椿組の新たな挑戦。昨年『じじいに幸あれ』で小劇場界の話題をさらった若手劇団「張ち切れパンダ」を主宰する梨澤慧以子を作・演出に迎え、世代を超えたコラボレーションによる新たな舞台を創りあげます。30歳の梨澤の視線、69歳の外波山文明率いる椿組の座組みで描く「昭和」を生きぬいた孤独な老人の姿は、差し迫る高齢化社会を前に立ち尽くす現代の闇を切り拓くことになるでしょう。

椿組2016年春公演『三太おじさんの家』

時は今。三太おじさんはもともと偏屈な人間であったが、妻に先立たれてからさらに頑なな人間になってしまった。引きこもった叔父・三太を心配し、甥のたかしが様子を見に行く。思い出がたくさんありすぎて物を捨てることできないという叔父を無視して掃除を始めるたかし。その膨大な品々の中から昔の日々がポツリポツリと思いだされ、掘り起こされていく。そこから見えてくるのは戦後高度成長期の中を必死に走り抜いた一人の人間の壮絶な人生であり、犠牲者としての人間の老いと孤独……。その姿にたかしは複雑な思いを抱く。

{開催日} 3月11日 {金} - 15日 {火}

公演日	3/11(金)	12(土)	13(日)	14(月)	15(火)
開演					
13:00					
14:00					
17:00					
19:00	●	●	●	●	●

※開場は開演の30分前です。

〈作・演出〉梨澤慧以子(張ち切れ/パンダ)
〈出演〉田淵正博、木下藤次郎、鳥越勇作、井上カオリ、岡村多加江、浜野まどか、今井夢子、中島愛子(張ち切れ/パンダ)、薩川朋子(張ち切れ/パンダ)、八木菜々花(張ち切れ/パンダ)、深井邦彦(張ち切れ/パンダ)、影山翔一、佐久間淳也、瓜生和成(東京タンパリン)、水野あや、外波山文明



左:梨澤慧以子 右:外波山文明

〈美術〉加藤ちか 〈照明〉野中千絵(RYU CONNECTION)
〈照明アドバイザー〉沖野隆一(RYU CONNECTION)
〈音響〉青蔭佳代(音スタ) 〈音楽(作曲)〉寺田英一
〈衣裳〉阿部美千代(MIHYプロデュース) 〈振付〉スズキ拓朗(CHAiROIPLIN)
〈ヘアメイク〉杉岡実加 〈演出助手〉山中淳恵 〈舞台監督〉鳥養友美
〈制作票券〉佐藤希(Andem)、吉野美紀、清水直子 〈宣伝美術〉黒田征太郎、長友啓典、中村健+K2

会場：ザ・スズナリ

料金(税込)

指定席4,000円 自由席(桟敷席)3,500円
学生・養成所生徒3,000円(当日要学生証提示)
中高生2,500円(当日要学生証提示)

※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

椿組 Tel.080-5464-1350
tubakigumi@nifty.com(PC) tubakigumi.1350@ezweb.ne.jp (携帯)
椿組WEB予約 <http://blog.ap.teacup.com/bunmei2/>
こりっち [https://ticket.corich.jp/apply/69590/\(PC\)](https://ticket.corich.jp/apply/69590/(PC))
[http://ticket.corich.jp/apply/69590/\(携帯\)](http://ticket.corich.jp/apply/69590/(携帯))
ザ・スズナリ(窓口販売のみ)

チケット発売日 2016年2月1日(月) 13:00

主催・お問い合わせ: 有限会社椿組 Tel.03-3202-1350 <http://homepage2.nifty.com/tubakigumi/>



ザ・スズナリ
〒155-0031 東京都世田谷区北沢1-45-15 2階
Tel.03-3469-0511
◆京王井の頭線・小田急線「下北沢駅」南口から徒歩5分



国境や文化の境界を越えて、結城座+坂手洋二が イプセン最高傑作『野鴨』に挑む!

日本の古典文化のひとつ「江戸糸あやつり人形」を継承する結城座と、ベトナム青年劇場との国際協働制作による人形芝居。12代目結城孫三郎はじめ人形遣いたちが寺門孝之デザインの人形をあやつり、ベトナムの国民的大女優であるレ・カインと競演します。演出に現代演劇の旗手・燐光群主宰の坂手洋二を迎え、アジアの芸術力を結集し、イプセンの戯曲『野鴨』を再構築していきます。様々な要素が融合した今まで見たこともない舞台にご期待ください。

江戸糸あやつり人形結城座×ベトナム青年劇場 日越国際協働制作『野鴨中毒』 (日本語字幕付)

写真家ヤルマールは妻ギーナと娘のヘドヴィクとささやかながらも平和な生活を送っていた。そこへ帰郷してきた友人グレーゲルスによってギーナの過去が暴露され、ヤルマール一家の平穏な日々が崩壊していく。父を慕う娘が苦悩の末に辿り着いた決意とは……

{開催日} 3月16日 {水} - 21日 {月・祝}

公演日	3/16(水)	17(木)	18(金)	19(土)	20(日)	21(月・祝)
開演						
14:00						
19:00	●	★	●	●	★	●

※開場は開演の30分前です。
※20日(日) 14:00開演の回の音楽は録音を使用します。
★アフタートークあり(詳細は結城座ウェブサイトにて)

〈原作〉イプセン 〈脚本・演出〉坂手洋二
〈人形美術・衣裳〉寺門孝之
〈出演〉十二代目結城孫三郎、レ・カイン(ベトナム青年劇場) ほか

〈舞台美術〉島次郎 〈照明〉齋藤茂男 〈音響〉島猛 〈舞台監督〉森下紀彦
〈ベトナム青年劇場スタッフ〉Dang Minh Tuan(舞台美術・舞台監督)
Pham Thanh Binh(照明) Nguyen Anh Tuan(音響)

会場：東京芸術劇場 シアターイースト

料金(全席指定・税込)

一般5,500円 U-25(25歳以下)2,500円(当日要証明書(年齢がわかるもの)提示)
Vチケット(日本在住のベトナム人の方)2,500円(当日要証明書(ベトナム国籍がわかるもの)提示)
※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

結城座 Tel.042-322-9750(平日10:00~18:00)
結城座オンラインチケット <http://www.youkiza.jp/>
チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード448-007) <http://t.pia.jp/>
ローソンチケット Tel.0570-000-407(オペレーター10:00~20:00)
Tel.0570-084-003(自動音声24時間/Lコード39179)
<http://l-tike.com/>
東京芸術劇場ボックスオフィス Tel.0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00)
<http://www.geigeki.jp/t/>

チケット発売日 2016年1月15日(金)

主催・お問い合わせ: 公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座 Tel.042-322-9750
<http://www.youkiza.jp/>

託児サービスのご案内

「東京芸術劇場託児施設 だっころーム」～東京芸術劇場での公演をご鑑賞の際、お子様をお預かりします～
【お預かり対象】生後3か月から小学校入学前のお子様(定員あり)
【お預かり時間】9:00~22:00(劇場休館日は除く)
【お申込み方法】お電話での事前予約(利用日の運営事務所1営業日前正午まで※)
※月曜日のお預かりは前週金曜日の正午まで、前週金曜日が祝日の場合は本曜日正午までとなります。
【料金】開演30分前から終演30分後まで ~1歳児:2,560円(税込) 2~6歳児(就学前):2,160円(税込)
【お申込み・お問合せ】小学館編集社プロダクションTel.03-3981-7003(平日10:00~17:00/土日祝休)



『オールドフレイム』2014年(脚本・演出:渡辺えり 人形美術:宇野亜喜良) 撮影:倉持社

シンポジウム

「このプロジェクトについて~日越の演劇事情~」
1月30日(土)14:30開始
〈司会〉山口宏子
〈パネリスト〉チュオン・ニュアン(ベトナム青年劇場館長)、
レ・カイン、坂手洋二、結城孫三郎
会場:ハリウッド大学院大学 講義室
入場無料/要事前申込 ※詳細は結城座ウェブサイトにて



東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2111(代表)
◆JR山手線・埼京線、東武東上線、西武池袋線、東京メトロ
有楽町線・丸の内線・副都心線「池袋駅」西口から徒歩2分
※池袋駅地下2b出口と直結



世界で愛される古典名作バレエの決定版

英国が世界に誇る名演出・振付家、サー・ピーター・ライトによる『コッペリア』は、古典バレエの醍醐味と現代に通じる説得力のある人間ドラマが展開される決定版として世界的な評価を得ています。日本では1996年にスターダンサーズ・バレエ団が国内のバレエ団としてこの作品を初演。以降この作品を通して英国バレエの真髄を紹介し、好評を博してきました。

今回は、バーミンガム・ロイヤル・バレエ団プリンシパルのジョセフ・ケイリーを初日ゲストに迎え、スターダンサーズ・バレエ団より林ゆりえ、渡辺恭子、吉瀬智弘が日替わりで主演します。心が浮き立つ楽しさと、ほのぼのとした幸福感にあふれたステージをお楽しみください。

2016年スターダンサーズ・バレエ団1月公演

ピーター・ライト版『コッペリア』全3幕

魔法の研究に没頭した人生を送り年老いたコッペリウス。彼の野望は自作の機械仕掛けの人形「コッペリア」を生きた人形にすること。ある日コッペリウスの家のバルコニーに置かれたコッペリアに、スワニルダの恋人フランツは人形とは思わず恋してしまう。コッペリウスの家に忍び込んだスワニルダは、人形になりすましコッペリウスとフランツを翻弄する。

領主の庭園では新しい鐘や金貨の贈呈が行なわれている。そこへコッペリウスが現れてスワニルダが人形を壊したと怒っていると、領主が金貨を与えなだめる。舞踏会では様々な踊りが披露され、スワニルダとフランツは平和の踊りで真実の愛をあらわす。やがて人々は去り、人形に夢を託したコッペリウスに訪れる結末は、観ている人の思い次第でプリズムのように色合いを変えていく。

{開催日} 1月8日 {金}—9日 {土}

公演日	1/8(金)	9(土)
開演		
15:00		●
18:30	●	

※開場は開演の45分前です。

〈音楽〉レオ・ドリーブ 〈振付〉マリウス・プティパ、エンリコ・チェッケッティ、ピーター・ライト
 〈演出〉ピーター・ライト 〈舞台美術・衣裳〉ピーター・ファーマー

〈出演〉

【スワニルダ】渡辺恭子(1/8) 林ゆりえ(1/9)

【フランツ】ジョセフ・ケイリー(バーミンガム・ロイヤル・バレエ団プリンシパル)(1/8)
吉瀬智弘(1/9)

ほかスターダンサーズ・バレエ団

〈指揮〉田中良和 〈管弦楽〉テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ

〈振付指導〉デニス・ボナー 〈照明〉ジョン・ホール 〈舞台監督〉森岡 肇 〈総監督〉小山久美

会 場：東京文化会館 大ホール

料 金(全席指定・税込)

SS席10,500円 S席9,000円 A席6,500円 B席5,000円
C席4,000円 D席3,000円

学生S券5,000円 学生A席4,000円 学生B席3,000円 当日学生席2,500円

※学生は、22歳までの学生が対象となります。(要学生証提示)
※4歳未満のお子様はご入場いただけません。

チケット取扱い

スターダンサーズ・バレエ団 Tel.03-3401-2293(平日10:00~18:00)
e-mail予約 ticket@sdballet.com

チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード446-871) http://t.pia.jp/
e+(イープラス) http://eplus.jp/(パソコン&携帯)

東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650 http://www.t-bunka.jp/

チケット発売中

主催・お問い合わせ:公益財団法人スターダンサーズ・バレエ団 Tel.03-3401-2293
http://www.sdballet.com/



東京文化会館
 〒110-8716 台東区上野公園5-45 Tel.03-3828-2111(代表)
 ◆JR山手線・京浜東北線・常磐線・成田線・高崎線・東北本線
 「上野駅」公園口から徒歩1分
 ◆東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口から徒歩5分
 ◆京成線「京成上野駅」正面口



世界のバレエの潮流を一度に楽しめるプログラム

新旧振付家の傑作を一度に堪能できる2本立て公演。ひとつめの作品は2013年に日本初演、翌年NHKの舞台放映でも話題となった「ベートーヴェン 交響曲第7番」待望の再演です。壮大な音楽と共に目のくらむようなスピードと躍動に満ちた舞台は、観る人の血を熱くします。

もうひとつの作品、本邦初演となる「L'Heure Bleue (ルール・ブルー)」は多彩な才能を発揮する双子の兄弟、イリ&オットー・ブベニチェクが振付から舞台美術・衣裳デザインまでを手掛け、振付家の遊び心が散りばめられたウィットに富んだダンスが心地よい作品です。ともに音楽性豊かでありながら異なる魅力で惹きつける名作にどうぞご期待ください。

東京シティ・バレエ団

ダブル・ビル 『L'Heure Bleue』『ベートーヴェン 交響曲第7番』

{開催日} 1月30日 {土}—31日 {日}

公演日	1/30(土)	31(日)
開演		
15:00		●
18:00	●	

※開場は開演の30分前です。

●『L'Heure Bleue』日本初演(東京シティ・バレエ団スペシャルバージョン)

〈演出・振付〉イリ・ブベニチェク
 〈音楽〉J.S.バッハ『2つのヴァイオリンのための協奏曲』/L.R.ボッケリーニ『弦楽五重奏』ほか
 〈振付助手〉オットー・ブベニチェク 〈バレエミストレス〉高木糸子、若林美和
 〈舞台美術デザイン・照明プラン・衣裳デザイン〉オットー・ブベニチェク
 〈衣裳製作〉工房いーち、コスチューミエール

●『ベートーヴェン 交響曲第7番』

〈振付〉ウヴェ・ショルツ 〈音楽〉L.ベートーヴェン『交響曲第7番』
 〈振付助手〉ジョヴァンニ・ディ・バルマ、木村規予香
 〈バレエミストレス〉山口智子、加藤浩子
 〈舞台美術デザイン・照明プラン・衣裳デザイン〉ウヴェ・ショルツ
 〈衣裳協賛〉チャコット株式会社

〈出演〉志賀育恵、佐合萌香、中森理恵、黄凱、キム・セジョン ほか東京シティ・バレエ団
 〈指揮〉井田勝大 〈管弦楽〉東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 〈照明〉足立 恒
 〈音響プラン〉GESMEC 〈大道具制作〉有限会社ユニ・ワークショップ
 〈舞台監督〉橋本 洋、浅田光久 〈芸術監督〉安達悦子

会 場：新国立劇場 中劇場

料 金(全席指定・税込)

SS席12,000円 S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円 学生席3,000円

※学生席は高校生以上25歳以下の学生対象となります。(要学生証提示)
※6歳以上からご入場いただけます。

チケット取扱い

東京シティ・バレエ団 Tel.03-5638-2720(平日10:00~20:00)
 ティアラこうとうチケットサービス Tel.03-5624-3333(第1・3月曜日を除く9:00~21:00)
 チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード446-841) http://t.pia.jp/

チケット発売中

主催・お問い合わせ:一般財団法人東京シティ・バレエ団 Tel.03-5638-2720
http://www.tokyocityballet.org/

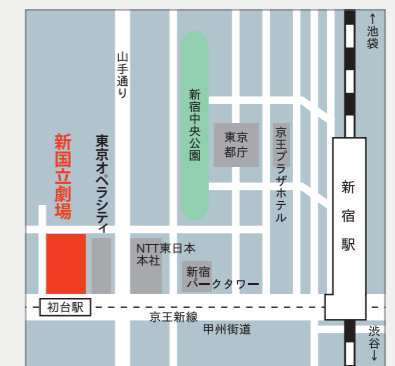


©Otto Bubenicek



©Takashi Shikama

INFORMATION



新国立劇場
 〒151-0071 渋谷区本町1-1-1 Tel.03-5351-3011(代表)
 ◆京王新線(都営新宿線乗入)「初台駅」中央口直結



古典バレエの最高傑作 『眠れる森の美女』の原典版に迫る

ロシア・バレエ黄金期の最高傑作である『眠れる森の美女』は1890年にペテルブルグのマリンスキー・バレエで初演されました。当時のマリウス・プティパ版にはその後手が加えられ、現在は世界各地で様々な改訂振付版が上演されています。1952年にマリンスキー・バレエの首席バレエマスター兼第一舞踊手だったコンスタンチン・セルゲイエフが演出を行った『眠れる森の美女』は、ロシアの文化政策の変遷や時代の要求に従っていくつかの部分に手が加えられているものの、ロシア古典バレエ特有の豪華絢爛な舞台の味わいは少しも損なわれておらず、原典版に最も近い作品とされています。

日本バレエ協会公演

コンスタンチン・セルゲイエフ版 『眠れる森の美女』プロローグと全3幕

命名式に招待し忘れられたという理由だけで邪な妖精カラボスによって16歳の死という呪いをかけられてしまったオーロラ姫。しかし彼女には守護精リラがついていました。リラはオーロラ姫は死んでしまうのではなく、長く深い眠りにつくだけです。そしてその悠久の眠りを目覚めさせるのは彼女を心から愛する男性の口づけなのです、と予言します。
そして迎えたオーロラ姫16歳の誕生日。果たしてカラボスの呪いは？ そしてリラの予言は…？
諸国にまで鳴り響く美貌に成長したオーロラ姫の運命が神秘の力に翻弄されます。



2009都民芸術フェスティバル参加公演
『眠れる森の美女』舞台写真より

{開催日} 3月19日 {土}—20日 {日}

公演日	3/19(土)	20(日)
開演	13:30	18:00
	●	●

※開場は開演の45分前です。

〈音楽〉ピョートル・チャイコフスキー
 〈原振付〉マリウス・プティパ 〈演出・振付〉コンスタンチン・セルゲイエフ
 〈振付指導〉マイヤ・ドムチenko
 〈出演〉【オーロラ姫】酒井はな(3/19) 松岡梨絵(3/20 13:30) 小野絢子(3/20 18:00)
 【デジレ王子】奥村康祐(3/19) 橋本直樹(3/20 13:30) 福岡雄大(3/20 18:00)
 ほか日本バレエ協会所属ダンサー

〈指揮〉アレクセイ・バクラン 〈管弦楽〉ジャパン・バレエ・オーケストラ

〈芸術監督〉薄井憲二
 〈バレエ・ミストレス〉鈴木未央、川喜多宣子、楠元郁子
 〈照明〉シアター・プレーン 〈舞台監督〉森岡肇

会場：東京文化会館 大ホール



酒井はな



奥村康祐



松岡梨絵



橋本直樹



小野絢子



福岡雄大

INFORMATION

料金(全席指定・税込)

S席10,000円 A席8,000円 B席6,000円 C席4,000円

※18歳未満及び65歳以上の方は、当日券に限り各席種2,000円引きとなります。(要年齢のわかるもの提示)
※4歳以上からご入場いただけます。

チケット取扱い

公益社団法人日本バレエ協会 Tel.03-5437-0372
 インターミュージック・トーキョウ Tel.03-3475-6870
 チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード447-765) <http://t.pia.jp/>
 東京文化会館チケットサービス Tel.03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/e+>(イープラス) <http://eplus.jp/>(パソコン&携帯)

チケット発売中

主催・お問い合わせ：公益社団法人日本バレエ協会 Tel.03-5437-0372 <http://www.j-b-a.or.jp/>



東京文化会館

〒110-8716 台東区上野公園5-45 Tel.03-3828-2111(代表)
 ◆JR山手線・京浜東北線・常磐線・成田線・高崎線・東北本線
 「上野駅」公園口から徒歩1分
 ◆東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」7番出口から徒歩5分
 ◆京成線「京成上野駅」正面口



男性振付家3名による 自由奔放なダンスパフォーマンス

今回の現代舞踊公演では、世代の異なる3名の男性振付家に新作を委嘱。「えらぶらず、競わず、ただ自由で真摯に生きる」をテーマに、それぞれの愛と調和の世界が描き出されます。総勢50名が織りなす3つのダンスアンサンブルがダイナミックに融合。また、新進ダンサーたちの自由奔放な群舞にもご期待ください。カッコつけて、強がり、ろくでもなくて、愛らしい、現代のダンスパフォーマンスをお見逃しなく。

現代舞踊公演

- 柳下規夫『冷たい満月 ニジンスキーの影に翔る』
- 山本 裕『The color of flowers』
- 能美健志『春の祭典』

{開催日} 3月17日 {木}—18日 {金}

公演日	3/17(木)	18(金)
開演	19:00	19:00
	●	●

※開場は開演の30分前です。

● 柳下規夫『冷たい満月 ニジンスキーの影に翔る』

〈振付〉柳下規夫
 〈出演〉川口ゆり子、大河原典子、小柴由美、比嘉茉莉花、金城陽香、森島美奈子、桧 彩香、脇口リイナ、比嘉千莉、柳下規夫



柳下規夫



「ボレロ」

● 山本 裕『The color of flowers』

〈振付〉山本 裕
 〈出演〉伊藤麻菜実、伊藤有美、大橋美帆、近藤 碧、高 瑞貴、たけだ有里、田中朝子、藤井淳子、船木ころ、古田詩織、森山結貴、山之口理香子、脇坂優海香、大前裕太郎、土田貴好、山本 裕



山本 裕



「チャイルド・スワン」

● 能美健志『春の祭典』

〈振付〉能美健志
 〈出演〉軽部裕美、森まどか、長谷川まいこ、齋田麗帆、松田 彩、志村真澄、大藤洋子、矢越沙保里、浅田尚子、鴨田果歩、中西涼花、高橋万里子、中嶋麻衣、阿津沢真利、川上愛以、大瀧彩乃、坂田尚也、坂田 守、矢野青剣、鈴木泰介、能美健志



能美健志



「リザージュ」

会場：東京芸術劇場 プレイハウス

INFORMATION

料金(全席指定・税込)

前売・当日4,000円
 学生1,000円(2階Z席/現代舞踊協会に要事前申込/当日要学生証提示)

チケット取扱い

東京芸術劇場ボックスオフィス Tel.0570-010-296(休館日を除く10:00~19:00)
<http://www.geigeki.jp/t/>
 チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード447-356) <http://t.pia.jp/>
 一般社団法人現代舞踊協会 Tel.03-5457-7731

チケット発売中

主催・お問い合わせ：一般社団法人現代舞踊協会 Tel.03-5457-7731 <http://www.gendaiBUYOU.or.jp/>



東京芸術劇場

〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2111(代表)
 ◆JR山手線・埼京線・東武東上線・西武池袋線、東京メトロ有楽町線・丸の内線・副都心線「池袋駅」西口から徒歩2分
 ※池袋駅地下2b出口と直結



邦

楽

JAPANESE TRADITIONAL MUSIC

さまざまな日本の伝統音楽を 解説つきで身近に

義太夫、清元、古曲、三曲、新内、常磐津、長唄の7つの邦楽団体が、第一部と第二部に一曲ずつ出演する二部構成による演奏会です。

邦楽にはさまざまな曲がありますが、人間が持つさまざまな感情「喜怒哀楽」を唄ったものが数多くあり、今回の演奏会では各団体がこれらの感情を分担して選曲し、演奏します。出演は人間国宝をはじめ芸達者な実演家たちが顔をそろえ、味わい深い芸を披露します。来場の皆様には曲目・演者の解説つきプログラムを無料で配布するとともに、演奏中は電光字幕による詞章(歌詞)を掲示。幕間には演奏内容や鑑賞のポイントの解説を行います。

第46回 邦楽演奏会 一喜・怒・哀・楽一

{開催日} 3月5日 {土}

●第1部 12:00開演(11:00開場)

三曲	『杵越調祝賀』	宮下秀列
宮 節	『山崎(道行菜種の乱咲)』	宮 節千穂、宮 節佳寿弥
長 唄	『俄獅子』	杵屋直吉、杵屋五三郎
新 内	『日高川』	富士松小照、新内仲三郎
清 元	『三千歳』	清元志寿雄太夫、清元志寿朗
常 磐 津	『将門』	常磐津初勢太夫、常磐津文字寿
義 太 夫	『桂川連理欄より「帯屋の段」』	竹本駒之助、鶴澤津賀寿



「第45回邦楽演奏会」より河東節「乱髪夜籠笠」



「第45回邦楽演奏会」より義太夫節「烏帽子折笠源氏「伏見里の段」」



「第45回邦楽演奏会」より清元節「田舎源氏」

[写真: 第45回邦楽演奏会より]

●第2部 16:00開演(15:30開場)

清 元	『青海波』	清元延初磨、清元紫葉
義 太 夫	『菅原伝授手習鑑より「車曳の段」』	竹本土佐恵、鶴澤寛也
新 内	『道中膝栗毛～市子口寄せ』	鶴賀岳代寿、鶴賀岳代寿郎
常 磐 津	『お夏(上)』	常磐津津太夫、常磐津東蔵
三 曲	『八千代獅子』	川瀬露秋
一 中 節	『小町少将道行』	都一桜、都一中
長 唄	『紀文大尽』	杵屋彌十郎、杵屋六三郎

〈解説〉葛西聖司(元NHKエグゼクティブアナウンサー)

※開場中、会場ロビーに邦楽器の展示・体験コーナーを設置します。

会 場：国立劇場 小劇場

料 金(全席自由・税込)

各部一般3,000円
各部学生1,500円(当日窓口販売のみ/要学生証提示)

※各部入替制となります。
※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

国立劇場チケットセンター(窓口取扱いのみ)
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>(パソコン&携帯)
日本三曲協会事務局 Tel.03-3585-9916(平日10:00~17:00/電話予約のみ)

チケット発売日

2016年2月1日(月)

主催：邦楽連合会 (一般社団法人義太夫協会、清元協会、一般財団法人古曲会、新内協会、常磐津協会、
一般社団法人長唄協会、公益社団法人日本三曲協会)
お問い合わせ：公益社団法人日本三曲協会 Tel.03-3585-9916 <http://www.sankyoku.jp/>



国立劇場
〒102-8656 千代田区集町4-1 Tel.03-3265-7411(代表)
◆東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番出口から徒歩5分
◆東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」
2・4番出口から徒歩10分



日

本

舞

踊

JAPANESE TRADITIONAL DANCE

日本舞踊の伝統と革新と現在

古典芸能として長い伝統を有し、その息吹が今日まで脈々と受け継がれている日本舞踊。日本舞踊協会公演は、通常は流派ごとの活動を基盤としている現代の代表的な日本舞踊家が、その流派を超えて共演する規模・水準ともに最高レベルの公演です。上演される演目は、古典舞踊の代表的な作品から各流派に伝承される希少曲、近代の名作や日ごろ都内では鑑賞機会の少ない上方舞なども織り交ぜた多彩なラインナップで、日本舞踊の魅力を多方面から味わい発見していただける内容となっています。今回はまた、谷川俊太郎、樋口一葉、泉鏡花、谷崎潤一郎、宮沢賢治、吉川英治らの文芸作品を原作とした舞踊の特集上演(20日昼の部)も見逃せません。

第59回 日本舞踊協会公演

{開催日} 2月20日 {土}—2月21日 {日}

公演日	2/20(土)	21(日)
開演	11:30	16:00

※開場は開演の30分前です。
※開催日ごとに、また昼の部と夜の部では出演者及び演目が異なります。

〈出演〉吾妻徳穂、井上八千代、猿若清方、橋若芳慧、中村梅彌、西川扇蔵、花柳壽輔、花柳輔太郎、藤間勲右衛門、藤間藤太郎、松本錦升、若柳壽延 ほか

長唄	『神楽十二刻』『小袖會我』『君立ち川・天狗風』『賤機帯』
常磐津	『蓮生』『花』『日追の径』『みみをすます』『夢の富』
常磐津・清元	『辰鷲』
常磐津・清元	『お化け提灯』
清元	『うかれ坊主』『十二段君が色香』『宮比御神楽』『深川女房』
義太夫	『吉野山』『弓流し物語』
一中節	『花の段』
地歌	『荒れ鼠』
大和楽	『樋口一葉・たけくらべ』
録音音源使用演目	『御柱祭』『高野聖』『西鶴五人女』『泉祈願』

※各部の番組は決定次第、公益社団法人日本舞踊協会ウェブサイト等でお知らせします。

会 場：国立劇場 大劇場

料 金(税込)

各部1等席(指定席)8,500円
各部2等席(指定席)5,500円
各部3等席(自由席/3階)2,000円

※各部入替制となります。

チケット取扱い

公益社団法人日本舞踊協会ウェブサイト <http://www.nihonbuyou.or.jp>
チケットぴあ Tel.0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>
国立劇場チケットセンター(窓口取扱いのみ)

チケット発売日

2016年1月13日(水)

主催・お問い合わせ：公益社団法人日本舞踊協会 Tel.03-3533-6455
<http://www.nihonbuyou.or.jp/>



「第58回日本舞踊協会公演」より長唄「梅の木」



「第58回日本舞踊協会公演」より長唄「座敷舞道成寺」

[写真: 第58回日本舞踊協会公演より]



国立劇場
〒102-8656 千代田区集町4-1 Tel.03-3265-7411(代表)
◆東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番出口から徒歩5分
◆東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」
2・4番出口から徒歩10分



『翁』に始まり一日を通して上演される 由緒正しい能楽公演

式能は江戸式楽の伝統を受け継ぐ由緒正しい方式による能楽公演で、公益社団法人能楽協会に所属するシテ方・狂言方全流儀が揃い、当代一流の能楽師が一堂に会する年に一度の貴重な舞台です。番組形式は“翁付五番立て”として、能の間に狂言を一番ずつ計四番を組み入れた構成となっています。最初に上演される『翁』は、各流儀の代表となる演者が毎年順番で演じるようになっており、今年度はシテ方金剛流宗家・金剛永謹が勤めます。

第56回 式能

{開催日} 2月21日 {日}

番組

●第1部 10:00開演(9:30開場/14:30終演予定/休憩1回あり)
※『翁』上演中は客席内への途中入場・退場は一切お断りしておりますのでご了承ください。

- 〈能〉金剛流『翁』 金剛永謹 『三番叟』 野村万蔵
- 『竹生鳥』 今井清隆
- 〈狂言〉和泉流『福の神』 三宅右近
- 〈能〉観世流『橋弁慶』 武田尚浩
- 〈狂言〉大蔵流『二人袴』 大蔵教義

●第2部 15:00開演(19:20終演予定/休憩1回あり)
※第2部は第1部終演後の開場となります。

- 〈能〉金春流『西行桜』 本田光洋
- 〈狂言〉和泉流『柑子』 野村万作
- 〈能〉宝生流『籠太鼓』 東川光夫
- 〈狂言〉大蔵流『柿山伏』 山本東次郎
- 〈能〉喜多流『殺生石白頭』 粟谷能夫



『第52回式能』より『翁』シテ:金剛永謹 ©能楽協会(撮影 辻井清一郎)

会場: 国立能楽堂

料金(全席指定・税込)

[正面] 各部7,000円 第1部・第2部通し12,000円

[脇正面・中正面] 各部5,000円 第1部・第2部通し8,000円

[学生席] 各部1,000円(脇正面後方/26歳以下の全日制学生/要事前申込み) ※学生席のお申込みは12月9日(水)をもって受付終了しました。

※各入替制となります。
※未就学児はご入場いただけません。

チケット取扱い

国立能楽堂(窓口販売のみ)

チケットスペース Tel.03-3234-9999

(月~土10:00~12:00/13:00~18:00/2月12日(金)まで)

チケットぴあ Tel.0570-02-9999(Pコード447-046) <http://t.pia.jp/>

ローソンチケット Tel.0570-000-407(オペレーター10:00~20:00)

Tel.0570-084-003(自動音声24時間/Lコード39722)

<http://l-tike.com/>

チケット発売日 2015年12月11日(金)

能楽協会主催シンポジウム

「江戸式楽、そして現代」~『式能』を軸に能楽を取り巻く現状を考える~

2月4日(木) 18:30~20:30 会場: 国立能楽堂 入場無料/要事前申込(先着順)

※詳細は能楽協会ウェブサイトにて

主催: お問い合わせ: 公益社団法人能楽協会 Tel.03-5925-3871(平日10:00~16:00)
<http://www.nohgaku.or.jp>



国立能楽堂
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 Tel.03-3423-1331(代表)
◆JR中央線・総武線「千駄ヶ谷駅」から徒歩5分
◆東京メトロ副都心線「北参道駅」1番出口から徒歩7分
◆都営地下鉄大江戸線「国立競技場駅」A4出口から徒歩5分

街路を歩き交い、日常を潤すさまざまな芸能

近代以前に演じられた芸能のほとんどは、街路や門口や屋外の広場を舞台とし、そうした歌舞が人々の生活を潤してきました。現在も屋外ではさまざまな魅力的な芸能が祭礼の奉納芸として、季節折々の門付けとして、また大道芸として上演されています。

今回の東京都民俗芸能大会では江戸・東京に伝わる「道を練り、流す芸能」と「街角で演じる芸能」を2日間にわたりご紹介いたします。さらに新たな取り組みとして、東京で継承されている日本各地の芸能枠を設け、岩手県の鹿踊と沖縄県のじゅり馬をご紹介します。

第47回 東京都民俗芸能大会 一道の芸・街角の芸

{開催日} 3月19日 {土}—20日 {日}

●3月19日(土) 13:00開演(12:30開場/16:00終演予定) ●3月20日(日) 13:00開演(12:30開場/16:00終演予定)

- 八王子車人形 西川古柳座 (八王子市)
- 高木神社の獅子練り 高木神社獅子練り保存会 (墨田区)
- チンドン芸 チンドン芸社・美香+大場ひろみ+里野立 (台東区ほか)
- 口上芸 坂野比呂志大道芸塾 (台東区)
- 飴売り芸 坂野比呂志大道芸塾 (台東区)
- 岩手の鹿踊 東京鹿踊+舞川鹿子躍保存会 (東京で継承する日本各地の芸能枠)
- 江戸太神楽 丸一仙翁社中 (文京区)
- 江戸里神楽 萩原彦太郎社中 (新宿区)
- 青梅の祭囃子 西分町囃子連 (青梅市)
- 岡田の天古舞 岡田天古舞保存会 (大島町)
- 江戸曲独楽 やなぎ南玉
- 王子田楽 王子田楽衆 (北区)
- 沖縄のじゅり馬 馬の芸能民俗研究会 (東京で継承する日本各地の芸能枠)
- 浅草寺 金龍の舞 浅草寺舞保存会 金龍の舞執行委員会 (台東区)

※出演順は変更になる場合があります。何卒ご了承ください。

会場: 東京芸術劇場 プレイハウス

入場無料(要事前申込)

申込方法
2016年1月30日(土)(消印有効)までに、往復はがきに①希望日②住所③氏名(ふりがな)④電話番号⑤希望人数(2名まで)を書き、返信はがき宛名面に返信先住所を記入の上、東京都民俗芸能大会係(〒102-0073 千代田区九段北4-3-24 京二ビル3階 SAP内)へ。
※3月19日(土)、20日(日)両日とも入場を希望される場合は、お手数ですが、それぞれの日ごとにお申込みください。(1通の往復はがきで両日の申込をされた場合は、どちらか1日のみを有効とさせていただきます。)
※お申込みは、1人各日1通限り有効です。
※応募者多数の場合は抽選となります。

主催: 東京都・東京都教育委員会・公益財団法人東京都歴史文化財団・東京都民俗芸能大会実行委員会
お問い合わせ: 東京都民俗芸能大会係 Tel.03-5226-8537(株式会社SAP/平日10:00~18:00)



東京芸術劇場
〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2111(代表)
◆JR山手線・埼京線、東武東上線、西武池袋線、東京メトロ有楽町線・丸の内線・副都心線「池袋駅」西口から徒歩2分
※池袋駅地下2b出口と直結

能
楽

NOH

INFORMATION

民俗
芸能

FOLKLORIC
PERFORMING
ARTS

寄席芸能をより身近に

豪華出演陣による演目をたまには無料で心ゆくまでお楽しみください。

※本紙掲載の公演内容に、やむを得ず変更が生じる場合がございますが、何卒ご了承ください。
※最新の公演情報は、都民芸術フェスティバル公式ウェブサイト <http://tomin-fes.com/> でご案内しています。

寄席芸能

VARIETY HALL ENTERTAINMENT

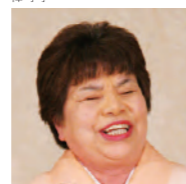
第46回 都民寄席

浪曲の会

{開催日} 2月7日 {日} 13:30 開演

番組
 玉川太福『清水次郎長伝石松代参』(作:正岡 容) 曲師:玉川みね子
 大利根勝子『梅山家の縁談』 曲師:玉川みね子
 解説:長井好弘(読売新聞編集委員)
 玉川奈々福『仙台の鬼夫婦』 曲師:沢村豊子
 澤 孝子『春よ来い』(作:長谷川勇) 曲師:佐藤貴美江

会場:東京都江戸東京博物館ホール
 〒130-0015 墨田区横綱1-4-1 Tel.03-3626-9974(代表)
 ◆JR総武線「両国駅」西口から徒歩3分
 ◆都営大江戸線「両国駅」A4出口から徒歩1分



町田公演

{開催日} 2月12日 {金} 18:00 開演

番組
 春風亭柳若『壺算』
 春風亭一朝『抜け雀』
 解説:長井好弘(読売新聞編集委員)
 曲独奏:三増紋之助
 三遊亭小遊三『味噌蔵』

会場:町田市民ホール
 〒194-0022 町田市森野2-2-36 Tel.042-728-4300(代表)
 ◆小田急線「町田駅」西口から徒歩7分
 ◆JR横浜線「町田駅」中央口・小田急線連絡口から徒歩10分



国立公演

{開催日} 2月17日 {水} 18:30 開演

番組
 解説:今野 徹(イースト・エンタテインメント)
 桃月庵白酒『宿屋の仇討』
 太神楽曲芸:鏡味正二郎
 桂 歌丸『紺屋高尾』

会場:くにたち市民芸術小ホール
 〒186-0003 国立市富士見台2-48-1 Tel.042-574-1515(代表)
 ◆JR南武線「矢川駅」または「谷保駅」から徒歩10分



羽村公演

{開催日} 2月26日 {金} 18:00 開演

番組
 春風亭朝也『新聞記事』
 笑福亭鶴光『竹の水仙』
 解説:矢野誠一(演芸評論家)
 紙切り:林家正楽
 柳家さん喬『笠碁』

会場:羽村市生涯学習センターゆとろぎ
 〒205-0003 羽村市緑ヶ丘1-11-5 Tel.042-570-0707(代表)
 ◆JR青梅線「羽村駅」東口から徒歩8分



日野公演

{開催日} 2月28日 {日} 13:30 開演

番組
 桂 宮治『つる』
 春風亭小柳枝『井戸の茶碗』
 解説:長井好弘(読売新聞編集委員)
 曲芸:ポンボンブラザーズ
 柳亭市馬『三十石』

会場:ひの煉瓦ホール(日野市民会館)
 〒191-0016 日野市神明1-12-1 Tel.042-585-2011(代表)
 ◆JR中央線「日野駅」から徒歩15分
 ◆JR中央線「日野駅」5番バスのりばから「高幡不動駅」行き>「日野市役所入口」下車

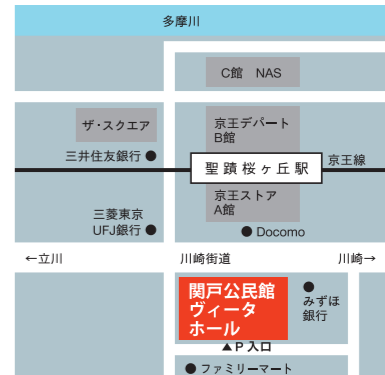
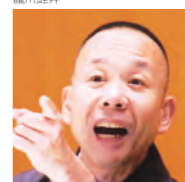


多摩公演

{開催日} 3月10日 {木} 18:30 開演

番組
 解説:今野 徹(イースト・エンタテインメント)
 古今亭志ん輔『幾代餅』
 漫才:ホンキートンク
 瀧川鯉昇『御神酒徳利』

会場:多摩市立関戸公民館
 〒206-0011 多摩市関戸4-72 ヴィータ・コミュニティー7・8階 Tel.042-374-9711(代表)
 ◆京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」から徒歩1分
 ◆京王線・小田急線「永山駅」/バスのりばから「聖蹟桜ヶ丘行き」>「聖蹟桜ヶ丘駅」下車徒歩1分

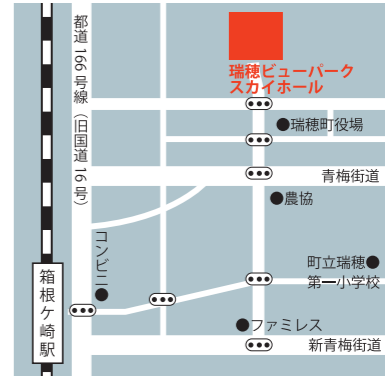


瑞穂公演

{開催日} 3月19日 {土} 13:30 開演

番組
 柳亭こみち『まんじゅうこわい』
 桂 文治『やかんなめ』
 解説:矢野誠一(演芸評論家)
 ポーズ:東京ポイズ
 柳家権太楼『不動坊』

会場:瑞穂ビューパーク・スカイホール 大ホール
 〒190-1221 西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2475番地
 Tel.042-557-7070(瑞穂町教育委員会 社会教育課推進係)
 ◆JR八高線「箱根ヶ崎駅」から徒歩約15分



※ 入場無料 (要事前申込)

申込方法

2016年1月8日(金) (必着)までに、往復はがきに①希望日時・希望会場②住所③氏名(ふりがな)④電話番号⑤希望人数(2人まで)を書き、返信はがき宛名面に返信先住所・氏名を記入の上、都民寄席実行委員会(〒160-0023 新宿区西新宿6-12-30芸能花伝舎2階 落語芸術協会内)へ。
 ※応募はがきは1枚1会場とさせていただきます。
 ※必要事項がひとつも欠けますと無効になります。
 ※応募者多数の場合は抽選となります。
 ※未就学児はご入場いただけません。

主催:東京都・公益財団法人東京都歴史文化財団・都民寄席実行委員会
 お問い合わせ:都民寄席実行委員会事務局 Tel. 03-5909-3081(公益社団法人落語芸術協会)



子供向け舞台芸術参加・体験プログラム

鑑賞だけでなく、芸術家とふれあい、様々な芸術体験ができるワークショップを加えた3つのプログラムを都内各所で展開していきます。

● 児童演劇なら「参加・体験・感動！ふれあいこどもまつり」

児童演劇や人形劇、ミュージカルなどの舞台公演や、楽器作りや人形作りワークショップなどが盛りだくさんのイベントを、都内7会場で開催します。

- 2016年1月31日(日) なかのZERO(中野区)
- 2016年2月11日(木・祝) きゅりあん(品川区)
- 2016年2月21日(日) 東大和市市民会館/ハミングホール(東大和市)
- 2016年2月28日(日) 生涯学習センター(清瀬市)
- 2016年3月6日(日) 東京都江戸東京博物館(墨田区)
- 2016年3月13日(日) ルミエール府中(府中市)
- 2016年3月12日(土)・13日(日)
20日(日)・21日(月・祝) 亀戸文化センター(江東区)

詳細 <http://www.jienkyo.or.jp/>

● 伝統芸能なら「こども芸能体験ひろば in 羽村」

日本の伝統芸能「落語」「狂言」「和妻」「三味線」「日本舞踊」を一堂に集めて、プロから教わるワークショップと、各ジャンルをダイジェストで紹介する舞台公演を開催します。

2016年2月11日(木・祝) 羽村市生涯学習センターゆとろぎ

詳細 <http://www.geidankyo.or.jp/>

● 音楽なら「第12回 子どもたちと芸術家の出あう街2016」

今回のテーマは「一日だけの魔法学校」。音楽とパントマイムでくりひろげられる「魔法のオーケストラ」をはじめ、楽器体験、作曲、雅楽、万華鏡作りなど8種類のワークショップやミニ・コンサートを開催します。

2016年3月27日(日) 東京芸術劇場

詳細 <http://www.njp.or.jp/>

2016 都民芸術フェスティバル

(発行日) 2015年12月15日

(編集・発行) 東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2116

(アート・ディレクション) 小林良太(株式会社アドテイスト)

(印刷・製本) 株式会社ライブアートブックス

※本誌掲載の記事、写真、イラストの無断複製、転載を禁じます。

最新情報はこちらから

公式サイト <http://tomin-fes.com/>



公式 Facebook
都民芸術フェスティバル



公式 twitter
@tomin-fes